

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 7番 三田学園高等学校 1年 鶴田 匡樹（つるた まさき）

【担 当 課】 総合政策部 公民連携推進課

【答弁予定者】 総合政策部長

【質 問 事 項】 待ち時間の有効活用法

【質 問 内 容】

7番 高校生議員 三田学園高等学校 1年 鶴田 匡樹です。

私から三田市の施設設備についての質問をさせていただきます。

現在の三田市には神姫バス・神戸電鉄・JRなど様々な交通機関が通っています。当然待ち時間も生まれますが、その間を潰せる場所が少ないのではないかと感じました。

そこで私の提案は公共交通機関の駅(特に三田駅周辺)に、自習可能スペースや休憩スペースを造ることです。駅前である利点は短い待ち時間でも勉強・作業することができ、気軽に立ち寄ることが出来る点です。家で勉強することが難しい人や友達と話しながらしたいという人の帰り道の途中の利用に適していると考えます。また、遅くまで残っても帰り道の安全や時間に対する不安は少なく出来ます。現在キッピーモールにも自習スペースはあり、連日混みあっていて需要も高いと思われます。さらに設置カ所を増やすことでさらなる利用者の増加と幅広い形での時間の活用が出来ると考えています。

また、通常の自習・休憩スペースも欲しいですが、交流可能なものを作るといことも提案します。中高生と大学生、社会人が気軽に交流できる場所が重要だと考えます。いつもの学校生活では他の共同体との関わりは少なく、交流できる場での関わりを生み出すことが出来ればと思っています。他県の事例のように、プロジェクトを企画している人同士を繋ぐ場としても有用を可能にしたいです。

上記のスペースの運営・管理は学生が行えるのが最善だと思いますが、時間・人数の関係に厳しい点があります。そのため、学校の生徒会執行部活動のように学生が定期的な時間制約付きの運営を行ったり、イベントの企画・運営を行ったりというのが理想だと考えます。

資金面・時間面には難しい点もあると思いますが、三田市で生活する一員として提案させて頂きました。そのようなスペースの作成と共同体同士の交流について市の考えをお聞かせください。

【答 弁 内 容】

鶴田議員のご質問にお答えします。

三田駅前には、市民活動を支援することを目的に設置された「まちづくり協働センター」があります。この施設は、地域課題の解決に取り組む団体や個人の活動が、うまく進められるよう相談窓口の設置や活動場所の提供、市役所出先として行政サービスの提供等を行っています。施設内には打ち合わせスペースがあり、そのスペースを議員がおっしゃっていたように、学生さんが自習

等をしていることも多くあります。このようなご活用は本来の設置目的ではありませんので、学生の皆さんは自習するにあたっては、市民活動のための施設であることを念頭にご利用いただければ幸いです。

さて、鶴田議員のご質問は、自宅や学校以外の「サードプレイス」の必要性についてのご提案だと考えます「サードプレイス」は家庭や職場、学校での関係性を離れ、「自分らしく」過ごすことができる場として、近年その必要性が高まっていると言われていています。こうした場を持つことで、個人の心身の健康が保たれ、生活の質がより高まるものと考えます。一方、こうした場は個人の選択によるところが大きく、その人の「サードプレイス」は、その人自身が見出していくものだと思います。人によってはカフェであったり、友人宅であったり、公園であったり、地元の集会所であったりするでしょう。市の公共施設も「サードプレイス」としてご利用いただけるようなものでありたいとは思っていますが、「サードプレイス」として整備することは難しいと考えています。

「サードプレイス」といえるためには、人と人とがありのままに交流できることも重要です。議員のような学生の皆さんが異なる立場や異なる年齢の皆さんと交流することは、三田への愛着を感じたり、三田の課題について考えたり、議論したりすることにもつながる素敵なことだと思いますので、ぜひとも応援したいと考えています。

公共施設で自習等する際には、そこでどんな活動がなされているかについても興味をもっていただき、積極的に参加したり、学生さんと社会人の方々を

つなぐ「スモカモスプロジェクト」にも関わっていただけるととてもうれしく
思います。

高校生の皆さんが、三田市で地域の人々と交流することで、勉強以外の「学
び」も得て、三田市や地域の人たちのことももっと好きになっていただきたい
と思いますし、高校生の皆さんが自分らしく生きていくことを応援したいと
考えています。

【再質問内容】

三田学園高校1年の鶴田です。質問書へのご返答ありがとうございます。ご
返答に関しての再質問させていただきます。

交流のできる場所・時間を潰せる場所としての共有スペースの存在は「サー
ドプレイス」という認識で間違いないです。サードプレイスはたしかに家やカ
フェなど当人自身が過ごしやすい場所が自然とそうなるものに間違いありま
せん。それを能動的に生み出すことは難しいことに違いないと思います。ただ、
交流スペースとしてではなく、自習などでいつでも利用可能なものとしての
スペースを作ることで良い影響となるのではないのでしょうか。

現状、答弁の中でもおっしゃられていたようにキッピーモールの交流スペ
ースの想定から外れた利用の状況がたびたびあります。それほどまでに自習
や作業用途としての需要が大きいことがわかります。それぞれの用途にあっ
たスペースを分割することで各スペースがそれぞれの役割をより果たすこと
が促進されると思います。自習は自習、交流は交流というような形ではつきり

分けることも使う人のちょうどいい環境となる「サードプレイス」を提供する一つの方法になるのではないのでしょうか。交流に重点を置きすぎずとも気軽に利用できるスペースを作ることも検討していただけたら幸いです。

【再答弁内容】

鶴田議員の再質問にお答えします。

議員からは、「交流」を前提としない自習等のためのスペースを三田駅周辺に公共施設として設けることをご提案いただきました。

先ほどもご答弁させていただいたとおり、まちづくり協働センターは市民活動の拠点として整備したものであり、現在、高校生の皆さんが自習スペースとしてご利用いただいていることを特に制限していないのは、若い方々が市民活動への関心を持つきっかけになる可能性に期待していることによるものです。

また、商業施設に自習できるスペースを設ける例がありますが、中高生の方々が自習のため、お集まりいただくことで商品の購入等につなげることを期待してのことだと思えます。

当然のことですが、ご提案のようなスペースを設置し、維持するためにはコストが必要です。そのコストをだれがどのような理由で負担するのか。例えば、学習塾が設置する自習室の利用について、お金を払っている人と払っていない人とのバランスをどのようにとるのか等を総合的に判断していく必

要があります。

議員もお気づきだと思いますが、経済状況などにより機会を失うことを回避するために、社会がそのコストを負担することはあるとしても、自分の利益になることに必要なコストは自分で負担することが原則です。

この観点からすると、「自習等をして時間を潰せる場所」を、市民の皆さんからお預かりしている税金で市が整備することについては、市民の皆さんの共感を得ることが難しいと考えています。

議員のご提案にはお応えできませんが、私たちが高校生の皆さんが自分らしく生きていくことを応援していることは言うまでもありません。どうか、これからもまちづくりに関心を持っていただき、参画していただきますようお願いいたしまして、議員へのご答弁とさせていただきます。